

2020年4月30日

板前がいる町の酒場


時代を超えて愛される、手づくりのぬくもり



DAISYO CORPORATION



<u>I. 2020／8月期第2四半期決算の概要</u>	2
1. 連結損益計算書(P/L)		
2. 新規出店・改装店実績		
3. 売上高の状況		
4. 販売費及び一般管理費の内訳		
5. 連結貸借対照表(B/S)		
6. 連結キャッシュ・フロー		
<u>II. 今後の取組み施策について</u>	10
<u>III. 通期連結業績予想について</u>	14



I . 2020 / 8月期第 2 四半期決算 の概要

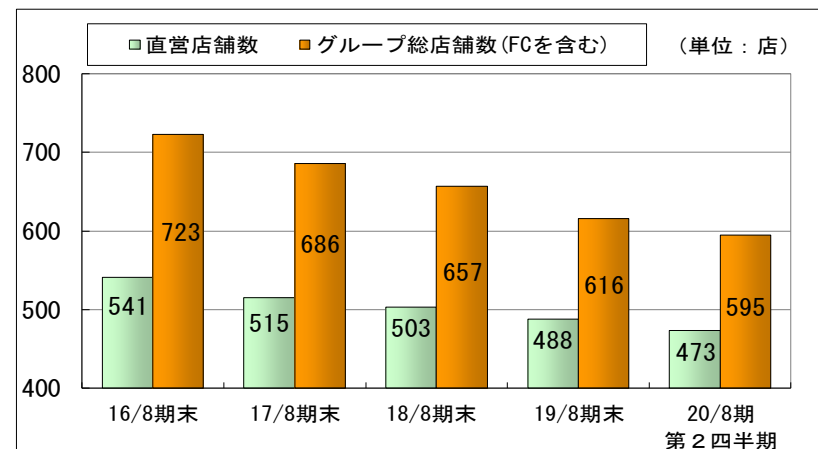
1. 連結損益計算書 (P/L)

【単位：百万円】

	2019/8月期 第2四半期実績		2020/8月期 第2四半期実績		増減額	
		構成比		構成比		比率差
売上高	30,478	100.0%	29,218	100.0%	▲1,259	—
売上原価	12,505	41.0%	12,335	42.2%	▲170	+1.2%
販売費及び一般管理費	17,721	58.1%	16,908	57.9%	▲813	▲0.2%
営業利益	251	0.8%	▲24	▲0.1%	▲276	▲0.9%
営業外収益	51	0.2%	121	0.4%	69	+0.2%
営業外費用	36	0.1%	32	0.1%	▲3	▲0.0%
経常利益	266	0.9%	63	0.2%	▲203	▲0.7%
特別利益	26	0.1%	12	0.0%	▲14	▲0.1%
特別損失	271	0.9%	258	0.9%	▲12	▲0.0%
税引前当期純利益	22	0.1%	▲182	▲0.6%	▲204	▲0.7%
法人税等	102	0.3%	105	0.4%	3	+0.1%
法人税等調整額	7	0.0%	▲55	▲0.2%	▲62	▲0.2%
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	0.0%	7	0.0%	0	+0.0%
四半期純利益	▲94	▲0.3%	▲240	▲0.8%	▲146	▲0.5%

2. 新規出店・改装店実績

	2020/8期 第2四半期
新規出店	3
店舗改装	17
閉店	18



業態別明細

	'19/8期 店舗数	新規出店		改装	業態転換による改装		閉店	'20/8期 第2四半期	増減
			うち 譲受		増加	減少			
庄や	162	2	2	2	8	▲1	▲2	169	+7
日本海庄や	72					▲9	▲6	57	▲15
大庄水産	40				1		▲1	40	0
とり家 忍び寿	24				1	▲1		24	0
築地日本海	17						▲1	16	▲1
満天酒場	13				2			15	+2
やるき茶屋	16					▲2	▲1	13	▲3
RUMP CAP	13						▲1	12	▲1
築地寿司岩	10							10	0
塩梅	10					▲1		9	▲1
呑兵衛	9							9	0
羊肉酒場 悟大	7	1						8	+1
もつ鍋 お多福	5							5	0
カラオケ業態 ※	52						▲2	50	▲2
その他	38				3	▲1	▲4	36	▲2
大庄合計	488	3	2	2	15	▲15	▲18	473	▲15

3. 売上高の状況

(1) 既存店売上高（対前年比）

<前年比実績推移表>

	'18/8期	'19/8期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	'20/2期 累計	3月
売上高	98.7%	100.1%	98.2%	90.6%	98.7%	96.6%	101.6%	96.0%	97.0%	58.3%
客数	98.4%	100.1%	99.7%	91.1%	97.4%	97.1%	101.0%	95.5%	97.0%	62.8%
客単価	100.3%	100.0%	98.5%	99.4%	101.3%	99.5%	100.5%	100.5%	100.0%	92.7%

<カテゴリー別前年比実績>

	昼	宴会	夜フリー	'20/2期 累計
売上高	101.9%	93.1%	96.5%	97.0%
客数	98.1%	92.8%	96.8%	97.0%
客単価	103.9%	100.3%	99.7%	100.0%

<カテゴリー別売上構成比>

	昼	宴会	夜フリー
'18/2期累計	15.4%	12.3%	72.3%
'19/2期累計	16.2%	12.4%	71.4%
'20/2期累計	17.2%	11.3%	71.5%
前期増減率	+1.0%	▲1.1%	+0.1%

3. 売上高の状況

(2) セグメント別売上高の状況

【単位：百万円】

	2019年8月期 第2四半期実績		2020年8月期 第2四半期実績		増減額	
		構成比		構成比		比率差
飲食事業	23,591	77.4%	22,174	75.9%	▲1,416	▲1.5%
卸売事業	2,083	6.8%	2,001	6.9%	▲81	0.1%
不動産事業	554	1.8%	606	2.1%	51	0.3%
フランチャイズ事業	237	0.8%	212	0.7%	▲24	▲0.1%
運送事業	3,728	12.2%	3,991	13.7%	262	1.5%
その他	282	0.9%	232	0.8%	▲50	▲0.1%
合 計	30,478	100.0%	29,218	100.0%	▲1,259	—

4. 販売費及び一般管理費の内訳

【単位：百万円】

	2019年8月期 第2四半期実績		2020年8月期 第2四半期実績		増減額	
		対売上比率		対売上比率		比率差
人件費	9,674	31.7%	9,171	31.4%	▲502	▲0.3%
地代家賃	3,058	10.0%	2,859	9.8%	▲198	▲0.2%
水道光熱費	1,305	4.3%	1,209	4.1%	▲96	▲0.2%
減価償却費	758	2.5%	717	2.5%	▲41	▲0.0%
消耗備品費	606	2.0%	585	2.0%	▲20	+0.0%
販促・広宣費	430	1.4%	414	1.4%	▲15	+0.0%
衛生費	347	1.1%	369	1.3%	22	+0.2%
その他	1,540	5.1%	1,580	5.4%	39	+0.3%
販売費及び一般管理費	17,721	58.1%	16,908	57.9%	▲813	▲0.2%
営業利益	251	0.8%	▲24	▲0.1%	▲276	▲0.9%

5. 連結貸借対照表 (B/S)

【単位:百万円】

	2019/8期	2020/8期 第2四半期	増減額
流動資産	16,606	15,252	▲1,354
現預金	12,800	11,580	▲1,219
売掛金	2,377	2,166	▲211
棚卸資産	670	729	59
その他	757	774	16
固定資産	26,180	25,837	▲343
有形固定資産	15,129	15,185	55
無形固定資産	1,569	1,518	▲50
敷金・保証金	8,823	8,659	▲163
繰延税金資産	309	121	▲188
その他	348	352	3
繰延資産	17	16	▲1
資産合計	42,805	41,105	▲1,699

	2019/8期	2020/8期 第2四半期	増減額(率)
有利子負債	9,847	8,244	▲1,602
現預金	12,800	11,580	▲1,219
NET有利子負債	▲2,953	▲3,336	▲382
自己資本比率	52.5%	53.6%	+1.1%
有利子負債依存度	23.0%	20.1%	▲2.9%

	2019/8期	2020/8期 第2四半期	増減額
負債合計	20,134	18,847	▲1,286
買掛金	2,021	1,737	▲284
未払金	2,214	2,155	▲59
借入金(長短)	8,902	7,364	▲1,537
社債	945	880	▲65
リース債務	69	321	252
資産除去債務(長短)	1,290	1,303	13
賞与引当金	389	598	208
役員退職慰労引当金	219	171	▲48
その他	4,081	4,315	234
純資産合計	22,671	22,258	▲412
株主資本	22,400	21,992	▲408
資本金	8,626	8,626	—
資本剰余金	10,034	10,034	—
利益剰余金	3,989	3,581	▲408
自己株式	▲250	▲250	—
その他包括利益累計額	60	57	▲3
非支配株主持分	209	208	▲0
負債・純資産合計	42,805	41,105	▲1,699

6. 連結キャッシュ・フロー

【単位：百万円】

	2019年8月期 第2四半期	2020年8月期 第2四半期	増減額
1. 営業活動CF	1,552	1,219	▲333
税引前利益	22	▲182	▲204
減価償却費	845	769	▲75
減損損失	147	163	16
賞与引当金増減額	222	213	▲9
役員退職慰労引当金の増減額	▲29	▲40	▲10
その他引当金純増減額	▲77	▲38	39
法人税等	▲152	▲189	▲37
その他営業CF	575	523	▲52
2. 投資活動CF	▲1,146	▲633	512
有形固定資産の取得による支出	▲969	▲578	391
有形固定資産の売却による収入	3	0	▲2
敷金・保証金の差入・回収純増減額	177	125	▲52
その他投資CF	▲357	▲181	175
※ フリーキャッシュ・フロー	(406)	(585)	(178)
3. 財務活動CF	811	▲1,804	▲2,616
長短借入金の純増減額	866	▲1,537	▲2,403
社債の純増減額	152	▲65	▲217
リース債務の返済支出	▲35	▲29	5
配当金の支払額	▲165	▲167	▲2
その他財務CF	▲5	▲4	1
5. 現金及び現金同等物の増減額	1,218	▲1,219	▲2,438



Ⅱ. 今後の取組み施策について

➤ 新型コロナウイルス感染拡大影響の長期化を想定し各対策・施策を強化

1. コロナウイルス感染拡大に対する足許の対応状況

(1) 当社の基本方針 (優先降順)

- ① 国難に対し、政府・自治体への最大限の協力 ⇒感染拡大防止の為の要請への全面協力
- ② 従業員の安全・雇用維持
- ③ 企業価値の維持・向上

(2) 直営店舗の休業実施

- 政府の緊急事態宣言発出を受け、一部店舗除くほぼ全店舗で臨時休業中
⇒休業期間：4月8日～5月6日予定 ~今後の状況に応じ対象店舗・期間は社会情勢を鑑み適宜検討
- 本社・物流部門においては、政府要請に則り出勤7割以上の削減・時差出勤を励行

2. テイクアウト・デリバリーサービス事業の推進

- 政府の外出自粛要請による「巣ごもり」対策として、デリバリーやテイクアウトサービススタートに向けての下準備
⇒外部のデリバリー専門業者の活用及び自社対応により運営を検討
- 「家飲み」「オンライン飲み会」需要の拡大に対応準備
- 「板前がいる街の酒場」である「庄や」ならではの手作りのメニュー、及び水産卸の機能を活かした新鮮魚介類をご用意

3. 外販事業の強化

- ① 同業他社である飲食店業態は当面厳しい状況が見込まれる
⇒活況である、スーパーや量販店等の小売店への販売を拡大強化
- ② 物流子会社である『DS物流』の強みを生かし、物流業務委託事業も取り込んでいく
- ③ 水産卸売子会社『米川水産』と大庄(商品本部)との仕入一本化により購買力の強化を図る



4. その他の営業施策（期初より継続）

（1）店舗政策

- ① 店舗業態・MDの充実化・差別化
 - 『庄や』『日本海庄や』の「リブランディング」の推進継続
 - 『お魚総本家』 ⇒2019/12月に一号店「池袋西口店」をオープン、好評を頂いた
- ② 出店計画 ⇒今後のコロナウイルス影響の状況を見ながら練り直していく



（2）デジタルマーケティングの強化

- ① 各種SNSやメディア等を利用した対外発信
 - 『リブランディング』の外部情報発信
 - 各年齢層に合わせたツールによる情報発信
 - 動画配信による情報発信 ⇒『調理甲子園』のホームページ及び「YouTube」での動画配信
- ② キャッシュレス化・QRコード決済の拡充 ⇒「d払い」「PayPay」「LinePay」等、今夏目途に全店へ拡大予定

5. 経費削減への取組みについて

- ① 雇用調整助成金の最大限の活用を含め、シフトコントロール等による人件費管理の徹底
- ② 各種経費削減への抜本的な取組み
 - ⇒ 長期的な削減も視野に全社体制で交渉等、削減に当たる
 - 各店舗の家主への家賃・賃料減額交渉の実施 ～一定の効果見込む
 - 有料販促ツールの費用対効果検証による費用削減 ～引き続き継続
 - その他、水道光熱費や通信費など定額支払い部分の費用を改めて見直し、削減を図る

6. 財務・資金面について

- ① 自己資本の状況（連結ベース）
 - 2020/2月末時点 222億円（自己資本比率53.6%） ⇒ 企業体力は相応にある
- ② 資金面
 - 2020/3月末時点 連結ベース125億円の現預金を確保している
 - 併せて、主力銀行他各取引銀行の支援のもと、5～6月 60億円規模の調達を実施予定

7. 設立50周年（2021年11月）に向けて

- 新型コロナウイルスにより、未曾有の危機ではあるが、世の中の変化に柔軟に対応しつつ、あらゆる施策を打ち、企業価値の維持・向上に努めたい

Ⅲ. 通期連結業績予想について

- 2020年8月期通期連結業績予想は、コロナウイルス感染拡大の影響度が不透明の為、一旦取り下げ「未定」とし、合理的な算出が可能となった段階で速やかに公表する予定。

【将来見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績見通し等に関する記述内容につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

従いまして、実際の業績等は、様々な要因により大きく変動する可能性があることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える要因としては、当社グループを取り巻く経済・社会情勢や市場環境、会計基準や法律・諸制度の変更などがあります。さらに、自然災害などの予測不可能なリスク要因も含まれております。

また、当資料は、当社グループをより深く理解いただくために、株主、投資家の皆様への情報提供を目的としたものであり、必ずしも投資をお勧めするものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

**IRお問い合わせ先****担当部：株式会社大庄 経営企画部****電話：03-5764-2229****FAX：03-5764-2237**